

サンライズキッズ保育園湖南石部園 調査結果報告書 【共通評価基準】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念、基本方針が文書(事業計画等の法人(保育所)内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 理念は、法人(保育所)が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人(保育所)の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	理念・基本方針はパンフレット・HPに明記し、特に0~2歳児を対象としての特別な保育方針については、分かり易く文章化し保護者にすべて配布している。 入園後も育脳カリキュラムや絵本の読み聞かせプロジェクトについては、保護者懇談会や保護者との面談機会がある都度必要に応じて内容についても伝えている。 出来れば園だよりのタイトルの上か下に、理念や保育方針など1行ずつ加えることで、保護者への周知に役立つものと考えられる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。(保育所)

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	毎月の園児数・空き状況を本部や市役所に報告する中で、利用者の変動を分析し保護者から選ばれる保育園となるように、積極的に園児の紹介をしていただける様働きかけている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの数・利用者(子ども・保護者)像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析して
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
	本部に毎月収支報告をし状況を共有し、課題把握に努めている。光熱費・食費の節約や備品購入などもすぐ購入するのではなく、今あるものの活用など職員に都度説明して、理解を深めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
	2020.2.01作成2021.3月末決算から2024.3月末決算までの経営計画で、売り上げ15億、純利益1億円、ミッション・ビジョン・バリューは明記している。しかし2020年度決算後の見直しの経過は見られない。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			<input type="checkbox"/>	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	<input type="checkbox"/>	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
	単年度計画としては、単年度収支予算が本部作成されて来るが、中・長期計画をベースにしたものと理解される。消費項目も明記されており具体的に数値目標となっていて実施状況の評価は行いやすくなっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。

サンライズキッズ保育園湖南石部園 調査結果報告書

【共通評価基準】

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
	全体的な計画からくる各事業計画書(研修計画・行事計画・食育計画等)と収支予算書がこれに該当するものと考えられる。本部からくる単年度収支予算と上記各計画とのリンクが見られない。湖南石部園独自の全体的な計画を作成し、上半期下半期年二回の見直しが実現する様期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
	園と保護者間では、常にWEBで情報交換を行っているの、理解しやすい条件に恵まれている。送迎時短時間ではあるが、保護者への報告やコミュニケーションに努めており、全保護者から高く評価を受けている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成する方法によって、保護者等がより理解しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
	園長と毎月面談し職員毎に3か月に1回自己評価を行い園長から指導支援を受けている。第三者評価調査も本部の指示で受審することとなったが、今後も定期的受審方策を取ろうとしている。評価結果を皆で共有・検討しようとする体制ができてい		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員間で課題の共有化が図られている。
	毎日の全体ミーティング、毎月の園長との個人面談、3か月毎の自己評価に基づく面談を通じて、課題把握から改善策を見出す良いコミュニケーションが育っている。加えて当社独特の360度査定という全職員が匿名で関係する社員全員(上司も含めて)評価をし、封筒に入れて直接本社に提出し、本社からは整理した内容が各個人に報告される等、ユニーク査定も、改善策実施に貢献している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。
	職務分掌表にて、施設長の役割を明確にしている。不在時の権限移譲をチーフ保育士に任せ、緊急性があれば、どんな時も時間を選ばずすぐに園長に連絡することを伝えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
	遵守すべき法令について、自ら調べ理解するように努めている。就業規則や管理規程など理解し、職員についても周知している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。

サンライズキッズ保育園湖南石部園 調査結果報告書

【共通評価基準】

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は口)にチェック)
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
保育の中で改善すべき事が見つかった時には個別に指導し、また園全体の問題として職員会議で話し合う場を設けたり、どのようにしていけば良いかをアドバイスしている。その後、保育士の関わりによってどのような変化が見られたか等も確認し、職員一人一人の保育の質が高められるようにしている。特に保護者への言葉の乱れ等については、職員全体の問題としてその都度話し合っスキルアップを目指している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
園長がシフト表を作成し、シフトを組む前に職員それぞれの事情なども考慮しながら配慮し、表作りの基本は、平等と考え、働き易い職場環境を目指して、早番・遅番・変形労働を組んでいる。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は口)にチェック)
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
毎月の在籍職員一覧で職員の人数報告を行い把握をしている。必要な人材の確保として保育士育成のキャリアスクールや雇上げ制度を利用し働きながら保育士資格の取得を目指す人へのサポートを行っている。今年度資格取得予定1名、4月から1名受入れ予定である。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	b
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。
期待する人物像として、同じ認識の下で業務にあたるように入社前に『入社前方向性シート』を渡したり園の方針や業務マニュアルにも目を通し方針を理解して入社する様配慮している。保育士の資質向上の一環として、ベスト連絡帳の表彰や360℃査定の実施・評価・分析を行っている。本園の職員がベスト連絡帳を受賞している。人事管理規程(人事基準)の整備および個人毎の職歴・資格・研修受講経歴をまとめた人事手帳やキャリアパスを明確にした人事基準の作成が望まれる。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は口)にチェック)
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員の就業状況や意向の把握等にもとづき労務管理に関する責任体制を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
保育士との面談を行う中で出てきた職員間での悩み・保育の悩みを把握し、その都度アドバイスを行っている。内容によりすぐには解決できない物もあるが、気持ちに寄り添い改善策を考え提案している。園長と保育士との上下関係の中にも、いつでも相談しやすい関係性や雰囲気大切にしている。またワーク・ライフをしっかりと分ける為に持ち帰りの業務は行わず時間通り(緊急時以外)に退勤している。今年度より男性職員に対しても育児休暇が取得出来るようになってきている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。

サンライズキッズ保育園湖南石部園 調査結果報告書

【共通評価基準】

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
	職員の目標に関しては、力量や経験などそれぞれ課題が違ってくる為、毎月の職員会議で当月の自身の振り返りと共に来月の自身の目標を挙げている。 それぞれができる範囲の中で無理のない目標を立て達成する事で自信をもって保育ができ、スキルアップ出来る様支援している。毎月の面談と年4回の自己評価の面談がベースとなっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要なとされる専門技術や専門資格を明示している。
	保育士の研修は毎月2回同じ内容で開催し、どちらかに参加し必要な研修に全員が参加できる体制をとっている。保育士用の研修には、3つのテーマからそれぞれの研修内容にあった資料を担当の園長が作成し、それをもとに研修を行っている。園長・調理スタッフは2ヶ月毎に各々の研修を受講している。年間の研修スケジュールも作成している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
	園内外の研修計画を作成し、園内研修は階層別実施している。希望する外部研修は積極的に受講できるようにしており、出席できていない職員には報告書の提出により内容の共有を図っている。 全職員について研修記録やキャリアアップ目標の現状を確認出来る個別のファイル作成が望まれる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	c	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
	まだ実習生を受け入れた事はないが実習マニュアルは作成している。小規模保育園で未満児の保育がきめ細やかな保育の実践が魅力的であることから是非実習生を受入れて欲しい。受け入れる事により、良い環境の中での養護・保育が展開されていることを体験することから、将来当園に就職希望者が生まれることを期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input type="checkbox"/>	エ 指導者に対する研修を実施している。
			<input type="checkbox"/>	オ 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	<input type="checkbox"/>	ア ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
	ホームページを活用し保育園利用者だけでなく、外部にも保育の情報を公開している。ただ予算・決算はまだ公開していない。苦情・相談内容もマニュアルがあり、情報はホームページに公開している。第三者評価を受審し結果を公表することとなっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづき改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
	内部事務、経理、取引については経理規定に基づき、その責任は職務分掌表により明確化している。内部監査は受けているが、外部監査活用には至っていない。 外部監査活用を期待したい。		<input type="checkbox"/>	ウ 保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
			<input type="checkbox"/>	オ 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。
			<input type="checkbox"/>	カ 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

サンライズキッズ保育園湖南石部園 調査結果報告書 【共通評価基準】

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
地域の方との繋がりを大切に、散歩時に地域住民の皆さんから気さくな声掛けがあり、子ども達も「おはようございます」「ありがとう」元気に言葉を交わしている。昨年までは園の行事にも協力してもらい、特にハロウインの行事には地域の方に協力いただき子どもたちは大喜びだった。コロナ禍が終息次第、行事参加を呼び掛けられるよう準備している。			<input type="checkbox"/>	ウ	子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	c	<input type="checkbox"/>	ア	ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
地域の小中高の職場見学・体験学習・インターンシップを想定して地域社会と保育園をつなぐ柱のひとつとして位置づけている。ただ現在の20才以上受け入れのボランティアマニュアルを見直し、本項にあうマニュアルの作成及び受け入れ体制整備を期待したい。			<input type="checkbox"/>	ウ	ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している
			<input type="checkbox"/>	エ	ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ	学校教育への協力を行っている。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
地域の関係機関との連携は必要であり、職員会議で研修しているが、目下のところ対象児童はいない。虐待マニュアルに従い日常の観察を心掛け、今後、子どもの人権と関わってそれぞれの機関と連携が取れる様準備をしている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ	地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ	地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(保育所)
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。		<input type="checkbox"/>	ア	保育所のスペースを活用して地域の保護者や子ども等との交流を意図した取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ	保育所の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。
本項で取り上げている保育所は、一般の50名以上の保育所用の項目と考えられ、評価項目から除外したい。本園では逆に災害時に地域の協力を貰って避難活動をしなければならない現状である。			<input type="checkbox"/>	ウ	保育所の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じ地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ	災害時の地域における役割等について確認がなされている。
			<input type="checkbox"/>	オ	多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	c	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ	民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
地域に根差した保育園づくりをめざし、今保育園に求められている事を本部とともに考え、出来るものから取り組んでほしい。外部の方に向けて、「パパママ相談室」を開設したが、まだ相談はない。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。
			<input type="checkbox"/>	エ	関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。

サンライズキッズ保育園湖南石部園 調査結果報告書 【共通評価基準】

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	基本方針に「一人ひとりの個性を大切に保育する・たっぶりの愛情で保育する」を掲げ、「子供に関するマニュアル」を基に園内研修を実施し保育に活かしている。保育士の資質向上のため、園内外研修を義務付け、不参加者への共有も必須としている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。
	自己評価を年4回実施し、その中で子どもの人権を守って保育しているかを把握・評価する機会があり園長からも評価・指導を得ている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
	今年2月外国籍の子を受け入れ、異文化についての理解を深めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
	遊びや生活面を異年齢で行い年上の子の姿を見て、年下の子は上手にできなくてもやってみようという気持ちになり、少しの手助けで達成感を味わえる機会となっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)
29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
	子どものプライバシー保護、虐待防止マニュアルを整備し、園内外で研修に参加し保育に活かしている。入園時に「写真掲載同意書」「個人情報使用同意書」について説明し同意をもらっている。職員には入社面接時に子どものプライバシー保護について、承諾サインを得ている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。
	子どもたちの関わりの中で保育士の言葉使いが気になる時は、職員会議でどのような言葉掛けが良いのかと皆で考える機会としている。おむつ交換はトイレ内で行い、着替えは職員手作りの椅子に座って行っている。窓が駐車場に面しているので、ブラインドで見えない配慮をしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 規程・マニュアル等にもとづいた保育が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意 (自己決定) が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。
	ホームページに園の詳細を載せて紹介している。園見学は、コロナ禍以前は園内で活動している様子を見て雰囲気を楽しんで貰ったが、現在は玄関先で説明したり、園庭で遊んでいる様子を見て頂いている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
	入園のしおりは市役所に設置コーナーがあり30冊常設している。月に1回は訪問し補充している。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 見学等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	入園前に重要事項説明書を基に、内容を詳しく説明し同意をもらい、保育内容に変更が生じた時も都度書面で渡し同意を得ている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
	外国籍の保護者・園児対応マニュアルが整備されている。日本語が不十分な保護者の説明時には、市役所の通訳や保護者の友人の協力を得ている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
32	③ 保育所等の変更や家庭への移行等にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	<input type="checkbox"/>	ア 保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。
	転園がスムーズに行く様に今までの様子を伝えたことはあるが、書類としての整備はない。作成を予定している。		<input type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。

サンライズキッズ保育園湖南石部園 調査結果報告書 【共通評価基準】

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
33	① 子どもの満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。(保育所)
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(保育所)
保護者懇談会(コロナ禍で中止)・個人面談・保護者アンケート等で保護者の意見を聞く機会を持っている。運営委員会に保護者代表2名の参加を得て意見や要望を聞き、次年度の運営の参考としている。保護者より保育参加を取り入れてという要望で、今年度年間5回設定したが、コロナ禍で2020年度は中止となっている。意見要望に対し保育者で話し合い、できる事は直ぐに対応し、できない事は理由を記載し話し合った内容は保護者に返している。保護者満足向上の取り組みの継続を期待したい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。(保育所)
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
苦情対応方法をホームページに載せ、苦情件数や内容、改善策も公表する仕組みとなっているが今の所はない。「利用者からの苦情を処理するために行う措置の概要」に苦情受付担当者・苦情解決責任者を明記し、相談・苦情内容の記録を正確に処理し、対応は原則的に当日もしくは翌日以内に処理すると記載している。怪我等、イレギュラーな連絡は迎え時の口頭だけでなく、連絡帳にも記載して欲しいとの要望があり即対応している。保護者からの意見や要望に対しての対応が早く、苦情にまで至っていない。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
玄関に苦情対応フローを掲示し、ご意見箱も設置しているが申し出はなかった。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 相談しやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
利用者からの苦情対応マニュアルが整備され、記録の方法・報告手順・対応等細かく記載してある。保護者懇談会で意見を聞く機会を持っていたが中止となり書面で聞き取っている。アンケートや保護者回答で得た要望や意見に対して、当日か翌日には対応し難しい時は理由を伝え理解を得ている。事務所の窓を常時開けておく事で保護者が相談しやすい状態を作り、送迎時気になる保護者には保育士から声掛けし相談しやすい雰囲気を作っている。保護者アンケートでも積極的な声掛けを高く評価している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
事故発生時対応マニュアルがあり、本部社員・園長・チーフで構成する事故防止対策委員会を年2回開催している。日々の気づきを記録したヒヤリハット報告書を毎週金曜日本部へ報告し、各園の事例を基に、分析・改善し徹底した事故防止に取り組んでいる。子どもが手や口に使用する玩具・遊具は毎日点検・消毒し、整理整頓が行き届いている。公園などへの散歩コースは事前に安全確認を行っている。SIDS対応訓練・救急法講習など研修に参加し、安心・安全な保育に努めている。園長をリーダーとした危機管理に引き続き注力してほしい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。

サンライズキッズ保育園湖南石部園 調査結果報告書

【共通評価基準】

38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。	
	感染症対応マニュアルを作成し、食中毒やウイルス感染発生時には嘱託医や役所からの情報を基に、連絡帳お知らせアプリや園内ホワイトボードに掲示し、発生状況を保護者に知らせている。登園届・登園許可証を作成し、園での感染拡大防止に努めている。栄養士や担当保育士を中心に食中毒予防や安全確保についての研修で得た知識を共有し、手洗い・アルコール消毒・マスク・三角巾などで徹底した食事介助を行っている。ノロウイルス・コロナウイルス対策として、職員の検温等のチェック、手洗い・清掃や換気・紙タオルの使用など衛生面に注意換気している。毎月の園だより・給食だよりで季節に特化した感染症予防対策を、こども・保護者に啓発している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	感染症の予防策が適切に講じられている。	
				<input checked="" type="checkbox"/>	オ	感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。
				<input checked="" type="checkbox"/>	カ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。
				<input checked="" type="checkbox"/>	キ	保護者への情報提供が適切になされている。(保育所)
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	災害時の対応体制が決められている。	
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。	
	災害対応マニュアルを整備し、様々な災害を想定した避難・消火・不審者対応訓練を毎月実施し記録・反省を行い次回につなげている。9月の引き渡し訓練、12月の消防通報訓練をスムーズな対応で実施している。保護者とは一斉メール配信・伝言ダイヤルの使用方法を確認し、散歩時には緊急連絡網・iPhone等を携帯し、水・保存食・防災頭巾・防災セット等を保管している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	
				<input checked="" type="checkbox"/>	オ	防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	標準的な実施方法が適切に文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
	「年齢別関わり方マニュアル」があり、食事・排泄・睡眠・着脱など、発達状況に応じた保育手順を文書化し、子ども一人ひとりの育ちに沿った関わりに努めている。年4回の自己評価で自身の振り返りを行い保育の質の向上を高めている。入職時に保育マニュアルを配布し、4月にWEB上で全国職員が読み合わせを行い、日々の保育の確認を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
				<input checked="" type="checkbox"/>	オ
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。
	40項目の文書には初版日・裏に改訂日・内容が記載できる様式になっている。変更時は園長ミーティングで検討・見直し各園へフィードバックし指導計画につなげている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	指導計画策定の責任者を設置している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。
	指導計画責任者をチーフ保育士・担任保育士とし、入園時の情報・発達経過記録・家庭調査票などを基に、必要に応じて嘱託医や栄養士の助言を受けアセスメントを行っている。全体的な計画に基づき、ねらい・内容を重点に月案を立て、週日案で実施・評価・反省を行い次月につなげている。職員会議・クラス会議で個々の子どもの様子など共有し、指導計画等を担任保育士が記入後、チーフ保育士→施設長→担当部所園長の手順で最終確認を行っている。気にかかる子のケースでは子ども・保護者の思いや意向に配慮し、巡回相談・保健センターなど相談・助言を受け個別指導計画につなげている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	全体的な計画にもとづき、指導計画が策定されている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。(保育所)

サンライズキッズ保育園湖南石部園 調査結果報告書 【共通評価基準】

43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
	週日案・月案の指導計画に基づき、職員会議で子どもの育ちなど話し合い評価・反省し次期計画に反映している。途中入園児などの案件は安心して過ごせるよう、他の子ども達と同様に寄り添った保育に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。
Ⅲ-2-(3)	福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。
	毎月「個人経過記録」を作成し、子どもの生活状況や成長経過を記録している。記録の取り方など社内研修に参加し、園長・チーフ保育士が助言・指導を行い、さらに担当部所園長に提出し再確認を得ている。本部から指摘事項があれば再検討し、職員会議を学びの場としている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
	就業規則に個人情報管理規程・取り扱い、漏洩防止の遵守を明記している。管理責任者を園長とし、個人情報は児童票・連絡帳で使用するiPadやカメラ・散歩時の保護者の緊急連絡網を鍵の掛かるロッカーで保管している。園で使用するパソコンには鍵をかけ、文書は5年保存としている。職員は新人研修・社内研修を行い、記録・連絡帳マイページ・保護者IDなど情報の管理を遵守徹底し、入園時・進級時に個人情報使用同意書・写真掲載承諾書で保護者に説明し同意を得ている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録管理の責任者が設置されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

サンライズキッズ保育園湖南石部園 調査結果報告書
【内容評価基準】

A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
1	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	b	☑	ア 全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて編成している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。
	全体的な計画は、理念・保育方針・一人ひとりに寄り添う人権配慮・人格尊重・安全・快適・事故防止を全職員合意に基づき作成しているが、コロナ禍を避けるために地域社会との連携については実行できていない。新年度の活動発展を期待したい。		☑	ウ 全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。
			☑	エ 全体的な計画は、保育に関わる職員が参画して編成している。
			☑	オ 全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
2	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	☑	ア 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
	室内の温度・湿度・換気管理は各担当保育士がチェックをし、プレスチェック時にも必ず記録し管理している。美化は全園で共通事項であり徹底しているが、何でも手に取り口にする0歳児への配慮としては収納場所、配置を考えている。安全を配慮した活動としては、内容によってグループ分けをして交代で行ったり、クラス別に子どもを分けて怪我の無いように工夫している。出入り口に靴・帽子・靴下を置き、自分で準備が出来るように工夫している。園庭での遊びの後は、すぐに手が洗えるように手洗い場が備わっているのは衛生面でも評価できる。		☑	ウ 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			☑	エ 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			☑	オ 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			☑	カ 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
3	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b	☑	ア 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
	自分の思いを表現できない子供たちの行動を、その場だけの判断で見て行うのではなく、「どうしたかったのか」「なぜそうだったのか」という事に、思いを馳せて子どもの代弁をするように心掛けている。自分のことを分かっているという安心感や、信頼関係が出来るように気を付けて対応している。周りへの配慮としては、名前を呼んで注意を行うのではなく周りへの配慮を行うように、その子の側で言葉を掛けるようにしている。肯定的な言葉の声掛けにより精神的に追い込み事がないように、保育士も感情的な言葉にならないように心掛けている。		☑	ウ 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			☑	エ 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			☑	オ 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			☑	カ せかず言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。
4	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	b	☑	ア 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
	子どもの活動の節目でトイレの誘導を行い、自分でタイミングを図れるように習慣づけている。外遊びの後には大きなマークで目印をつけた靴箱・牛乳箱リサイクルの靴下入れ等、自分で収納しやすい工夫を行っている。帽子や上着も出入り口で自分で着脱できる工夫をしている。手洗いへの誘導と子どもの動線にも工夫をしている。		☑	ウ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			☑	エ 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			☑	オ 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。
5	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b	☑	ア 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
	子どもが今日は「こんな遊びをしよう…」という思いや、子どもの選択に応えられるように、玩具の置き場に工夫したり、年齢に応じた遊びの道具を各テーブルごとに出して置いて、自分で選び遊べるように工夫をしている。散歩に出かける時には必ずその日のリダーが下見を行って、危険物はないか・安全か、などのチェックを行っている。また、言葉でこんな事を今日は気を付けましょう…と保育者全員に周知をし、子どもの安全な野外活動を行っている。散歩の途中で消防署や警察に立ち寄り「おはよう」「行ってきます」と子どもたちとの挨拶での交流を図ると共に、いざと言う時の連携・支援のお願いもしている。表現活動としては全園共通のリトミックのカリキュラムの中から、園で子どもたちに適したものをを選び、楽しく自由に体を動かしながら行っている。		☑	ウ 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
			☑	エ 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			☑	オ 生活と遊びを通して、友だちなど人間関係が育まれるよう援助している。
			☑	カ 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
			☑	キ 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			☑	ク 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			☑	ケ 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
			☑	コ 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。

サンライズキッズ保育園湖南石部園 調査結果報告書
【内容評価基準】

6	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
	双子の兄弟を育てている保護者には、配慮が必要なこともあるので保護者の方との連絡を密にして、精神面での支えを行ったり、送迎時の車からの荷物の運び出しなど一人では大変な部分でのお手伝いをしている。言葉で表現がまだできない子ども達なので、日常の中での行動や表情でその子の意思を汲み取り、この先生なら安心出来るという子どもの心が落ち着くような配慮を行っている。安全な玩具・絵本などは自分で好きなものや選べるように置き場に工夫もしている。1、2歳児の遊びや、生活の様子を見て刺激を受けていると感じている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの表情を大切にし、応答的な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
7	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
	まだうまく言葉で表現できない子供たちの心に寄り添い、「どんな遊び」「どんなことがしたい」かを、表情や行動で察知して友達と仲良く遊べるように代弁をして、好きな玩具で仲良く遊ぶ手助けをしている。近所の方・ゴミ収集車の方との挨拶や、散歩途中にある警察・消防署の方との挨拶で交流を図っている。またハロウィンの仮装行事には近所の方にお菓子配りで参加して頂く等、子どもたちと一緒に楽しんでもらえる機会を作っている。送迎時に保護者からの質問があった時には、内容によってはじっくりと対応する体制を整えている。合同保育の時間を取ることによって、年齢差の中で互いに良い刺激を受け、思いやりの心・憧れの心が生まれ行動に表れている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等が、友だちとの関わりを仲立ちをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
8	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		<input type="checkbox"/>	ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			<input type="checkbox"/>	ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			<input type="checkbox"/>	エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。
9	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
	サポートの必要な子どもが在園している。他の子どもと同じように言葉での理解で出来なかったり、行動面で遅れを取る事もあるので、保育士がその子どもに付いて園での楽しい生活が出来るようにサポートしている。子どもに無理のないような生活指導や行動のサポートなど、その子に合った個別の配慮もしている。保護者への子どもの様子や連携機関との連携も取れる状態になっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
10	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	初めての保育園生活・途中入園では親と離れて、不安な気持ちを抱えているので、出来るだけ家庭的な雰囲気でお迎えまでの間が、寂しくならないように気持ちに寄り添っている。異年齢の子どもと一緒に保育することで、上手くできないけれどお兄ちゃん、お姉ちゃんの行動を「真似したい」「やってみたい」「一緒に遊びたい」という気持ちが芽生え、保育士がその気持ちを手助けすることによって、気持ちの面で合同保育はプラスになっている。今、卒園式の練習をしているが、遊びながらも興味深げに見ている姿がある。職員会議で子どもの状態を共通理解しているが、伝言用のノートで延長保育での注意事項、その子の様子を早番の保育士に把握できるように記載している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。
11	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している		<input type="checkbox"/>	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
	本評価項目は小規模保育園と関係がないので、評価項目から除外する。		<input type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子ども生活について見通しを持てる機会が設けられている。
			<input type="checkbox"/>	エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			<input type="checkbox"/>	オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。

サンライズキッズ保育園湖南石部園 調査結果報告書
【内容評価基準】

A-1-(3) 健康管理		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
12	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
入園前の保育登録書に既往症や予防接種の状況を保護者に記載してもらい、入園後聞き取った事項は追記している。保育に関するマニュアルを基に、日々の健康管理を行っている。連絡帳が職員室に置いてあり、当日保護者から送ってきた内容を確認してから保育に当たるようにしている。年2回の健康診断・年1回の歯科検診・毎月の身体測定を実施している。SIDSに関しては、0歳児5分・1.2歳児10分毎のプレステックを実施している。うつぶせ寝をするリスクやプレステックをする必要性について研修し、年2回訓練も行っている。保護者にもポイントや注意することなども園だよりで伝え、園で実施した訓練の事をブログで紹介し周知を図っている。今後も保護者に健康・疾病に対する情報の提供を期待したい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの保健に関する計画を作成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
13	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
歯科検診後2歳児に歯磨き指導を行うため自宅より歯ブラシを持参してもらい、昼食後歌を歌いながら楽しく指導している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 家庭での生活に生かされるよう保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
14	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
アレルギー対応マニュアルがあり、入園時の面談でアレルギーの有無を確認し園での対応を伝えている。必要時医師の指示書を基に全職員・調理スタッフと共有し除去食対応をしている。現在アレルギー児はいないが、宗教上の理由で除去食対応が必要な子どもがいる。食器やお盆の色を変え、誰が見てもわかるようにしている。緊急時のアレルギー対応法に関して研修を行い、エビペン使用の研修も実施している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要は知識・情報を得たり、技術を習得している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
A-1-(4) 食事		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
15	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
年齢別の食育指導計画を作成し、発達に合わせた調理方法に配慮した食事を提供している。遊び・食事、午睡などスペースを分け、0～2歳児へ順次手洗いし、友だちや保育士と机を囲み「給食・給食うれしいなあ」と食事前の歌や絵本で待っている。個々に合わせた量でハヤシライス・もやしのサラダ・スライスチーズがテーブルに並び、「手を合わせましょう」「いただきます」と大きな声で笑顔いっぱいの子どもたちの姿が見えた。保育士の声かけや友だちの刺激を受け、あちこちでお代わりが聞こえる。食事の遅い子に急かすことなく「全部食べられた」という達成感を大切にしている。給食だよりの配布を通じ、「朝食の大切さ」の啓発や旬の食材でおやつレシピをピックアップ紹介し保護者に好評を得ている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子ども発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 食器の材質や形などに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。
16	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
栄養士・調理スタッフを交えた給食会議を毎月行い、各年齢の栄養バランスを考慮した献立表を本部管理栄養士が作成している。季節や産地の食材を採り入れ、自園で調理し提供している。調理室から子どもの様子を見ることで、喫食状況や嫌いな物が把握出来、調理方法に反映している。当園はアレルギーに配慮し卵を除去した調理を行い、他の保護者にも承諾を得ている。季節の花や野菜を植え、子どもたちが水やり育てたものを調理するなど、食の関心を深める取り組みを行っている。誕生食・行事食のひな祭りや節分など、子どもたちが楽しみを持った給食を心掛けている。毎月の自主点検記録簿で衛生管理が適切に行われ、安心安全な食事を提供している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 季節感のある献立となるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域の食文化や行事食などを取り入れている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。

サンライズキッズ保育園湖南石部園 調査結果報告書

【内容評価基準】

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
17	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
スマホでの連絡帳やオンラインでの動画で子どもの様子が見れるので、便利であり家族間でも共有でき保育者からも喜んでもらっている。また送迎時に保育士から声掛けをしてコミュニケーションを取るようになっている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
A-2-(2) 保護者等の支援		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
18	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等からの相談に応じる体制がある。
卒園児の保護者に対しては、個々に決まっている次の保育園と連携を取って引継ぎ事項の申し送りもしている。迎時に保育者と保育士とのコミュニケーションがうまくとれており相談事に対しても、込み入った内容は個別に対応しており保育士と園長との連携も取れている。また内容によっては会社からフォローもあり記録も残るようになってきている。小規模の事業所の良さとして保育士間での情報交換がスムーズに出来、共有化が図れている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 相談内容を適切に記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
19	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 虐待等権利侵害の可能性がある職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
虐待の事例はないが、保護者の気分がイライラしていると感じるとき、余裕がない様子の時には、関わり方に気を付けている。「今日はなんか疲れておられませんか…」気分が和らぐ雰囲気での声掛けによって、表情が緩み、実は〇〇があって…というように話を始められることもあり、話をすることによって気持ちが落ち着かれることもあるので対応に配慮している。今までに虐待は起こっていない。虐待防止のマニュアルは全園共通のものを作成している。相談機関との連携を図る体制が整っている。時代の推移からこのようなケースが生まれてくる可能性が高く、社内研修の継続を期待したい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ マニュアルにもとづく職員研修を実施している。

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
20	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い保育実践の改善や専門性の向上に努めている	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。
社内研修が行き届き、コミュニケーションがうまく行く様各種システムで支援しており、園長同志も協力し合っている。全園独特の各種自己評価制度は、保育実践に欠くことができないものとなっており、評価・見直し・スキルアップに生かしている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。